

超急傾斜農地で生産される農産物の販売促進等

棚田の美味しいお米～千代地区の棚田、苦労の結晶～

集落の紹介

私たちの集落は、飯田市中心市街地の東に位置し、泰阜村旧上村、旧南信濃村（現飯田市）と隣接する、中山間地域にあたります。

当集落内には、先人が山間地で生活していくために知恵を出して作り上げられた棚田があり、遙か昔の稲作文化を現代に伝えています。（棚田は1枚平均2.7a）

平成9年7月に「よこね田んぼ対策委員会」を発足。集落の貴重な財産として位置づけ、文化的遺産を継承していく活動が始まり、荒廃化した棚田を復田しました。平成11年には、日本棚田百選に認定され、都市住民との交流の場としてイベント（農業体験の場として、案山子コンテスト等）を地区を挙げて開催しています。

〈千代地区の棚田〉

当地区では、急傾斜の水田が多く5月の田植えから収穫まで多くの労力を費やし、美味しいお米づくりに取り組んでいます。

また、よこね田んぼで生産されるお米を文化祭などで販売したり昨年度は地元米を使った日本酒の試作に取り組みました。お米のパッケージも地域おこし協力隊の知恵、力を借りながら、農産物の販売、PR活動に取り組んでいます。

～体制整備のための前向きな活動

（A要件）の取り組み～

農業生産性の向上の取り組みとして鳥獣被害防止柵の設置と設置後の施設維持管理に取り組んでいます。

高付加価値型農業の取り組みでは、信州の伝統野菜「千代ネギ」の圃場拡大、また、地理的表示GIに登録された「市田柿」を栽培し、干し柿として加工、出荷に取り組んでいます。



信州の伝統野菜「千代ネギ」

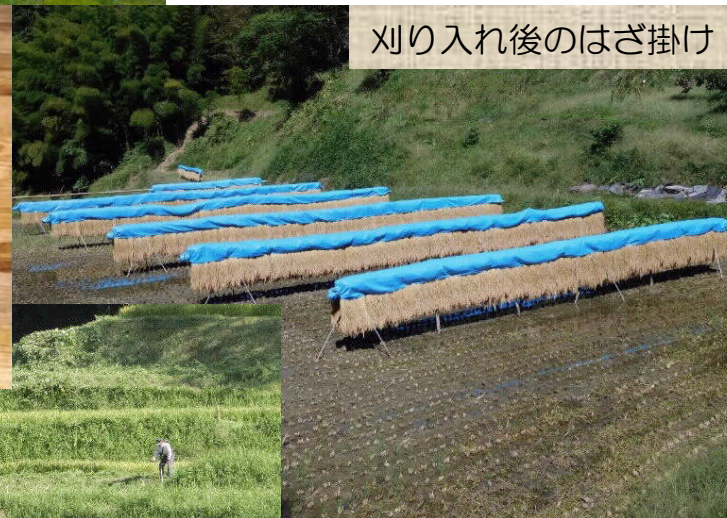
協定の概要

協定農地面積：56ha
（田25ha+畑31ha）
協定参加者142人、2団体

日本の棚田百選「よこね田んぼ」



飯田市 中山間地域等直接支払事業



刈り入れ後のはざ掛け



棚田の法面草刈り作業

棚田の勾配は、超急傾斜地であり、高齢者には非常に大変。美しい棚田の風景、景観や文化的遺産の保護に協定参加者で取り組みます。

コンバインを使える土地が少なく地区内の多くの農家が「はざ」を立て、しっかり乾燥させます。労力を必要とする作業ですが、手間暇かけ、美味しいお米を生産しています。また、谷間の棚田では、日の当たる場所まで刈り取った稲を運搬し大きな「はざ」で乾燥させます。